



インターネットにつなぐとき

守ってほしい、大切なこと

インターネットは便利で大きな可能性があり、世界中とつながることができますが、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長く複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



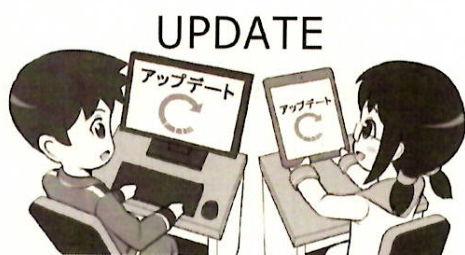
2 メールのリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードなどを盗もうとしたりします。LINE などでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になります。変だと思ったら誰かに確認しましょう。



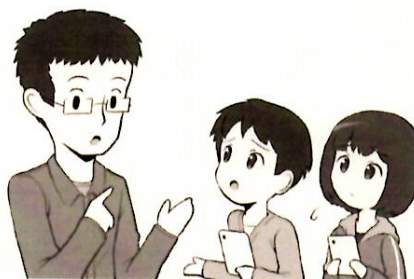
3 パソコンなどは常に最新の状態にして弱点をなくす

アプリやソフトが古いまま弱点が残っていると、そこを悪い人や最新のウイルスが狙ってきます。「後で」にせず、最新にアップデートしましょう。スマホも同じです。ただし、学校のパソコンなどは大人がちゃんと守っているので、自分でする必要はありません。



4 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、一人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



- 「パスワード」について：長く複雑なほど盗まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせるものにしましょう。他で使っているパスワードと同じものを使い回さないこと。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋認証なども組み合わせれば、もしパスワードが盗まれても守られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持っていないもの（例：スマホに届くショートメッセージ）」「あなた自身を表すもの（例：指紋）」といった別の要素の方法を組み合わせることを「多要素認証」と言い、さらに強く守る方法になります。
- 「アップデート」について：パソコンやスマホなどに入っているアプリやソフトは、攻撃で狙われるような弱点が見つければ、作った人がそれを修正して、使っている人に知らせます。これを「アップデート」といいます。いつも使っているアプリやソフトがアップデートするか聞いてきたときは、速やかにアップデートしましょう。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

NISC



内閣サイバーセキュリティセンター
National center of Incident response and
Strategy for Cybersecurity

もっと詳しいことを知りたいあなたへ

そもそも、インターネットって、何だろう？

「コンピュータ」と「インターネット」は違う

今ではコンピュータ（パソコンなど）は当たり前のようにインターネットにつながっていますが、最初のころは全く違いました。パソコン同士で情報をやり取りすることができなかったため、パソコンの世界は目の前のパソコンの中で完結していました。いわば「閉じた世界」だったのです。

その「閉じた世界」に大きく変化を与えたのが、インターネットの技術です。インターネットによって、世界中のパソコンがつながり、情報をやり取りすることが可能になりました。その結果、パソコンの世界は目の前のパソコンから文字通り世界中に広がりました。いわば「開かれた世界」になったのです。

その変化があまりにも大きすぎたため、「インターネット」という言葉は、その技術によりつながった、「開かれた世界」をも表すようになりました。

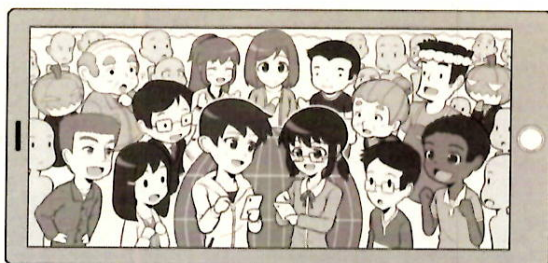


「インターネット」が持つ性質

開かれた世界であるインターネットは、次のような点で、閉じた世界とは決定的に違います。

隣の人（となり）も世界中の人（ちが）も、いい人も悪い人も、あなた（あなた）を見ることができる

あなたから世界中のあらゆる人に開かれていると同時に、世界中のあらゆる人からあなたにも開かれています。これまで出会わなかったような悪い人もいて、あなたを攻撃してくるかもしれません。



一度流出した情報は永遠に残ってしまう

パソコンやスマホなどにある写真や友達とのやりとりや大事な情報は、一度流出したら、インターネットを通じてあなたの手の届かない世界の隅々まで広がります。完全に消すのは難しく、発信する前に一回手を止めて考えましょう。



インターネットの「悪い人」は、何をしてくるのか

インターネットの世界で自分を守るには、「悪い人」が何をしてくるのか、代表的な攻撃手段（こうげき しゅだん）を知っておくことが有効です。例えばパスワードについては、悪い人は右の図のように見破（みや）ってやろうなどと考えています。これを見ると、確かにパスワードは長くて複雑にし、使い回してはいけないとわかります。同様に、メールを使った攻撃やアップデートされていないパソコンへの攻撃などで悪い人が何をしてくるのか想像してみると、「なぜ」そういう注意が必要なのか（こうげき）がより分かりやすくなります。



もっともっと詳しいことを知りたいあなたへ

以下でさらに詳しく解説しています。興味を持ったら、ぜひ読んでみてください。

- 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）「インターネットの安全・安心ハンドブック」
- 総務省「国民のための情報セキュリティサイト」
- 情報処理推進機構（IPA）「子ブタと学ぼう！情報セキュリティ対策のキホン」

